

## 【作り方説明書】

## 浴衣セットの型紙【25cm】

<b>■詳細対応サイズ</b> ・ 25cmL	<b>■難易度</b> イージー/ノーマル/ハード/ハード↑/【エクストラ】
<b>■サンプル使用生地 of 厚み</b> ・ 25cmL 浴衣本体：0.17mm/浴衣帯：0.33mm	<b>■用意するもの</b> ・ 普通～やや薄手の生地 ・ 面ファスナー ・ 熱接着テープ(5mm 以下がおすすめ) ・ 解れ止め液
<b>■手縫い可否</b> OK	
<b>■布に書き写すパーツリスト</b> ・ 浴衣本体 ①②身頃 2枚→左右反転して2枚 ③④袖 2枚→ // ⑤衿 1枚→そのまま1枚 ⑥⑦おくみ 2枚→左右反転して2枚  合計：7枚 のパーツで構成	<b>■布に書き写すパーツリスト</b> ・ 浴衣帯 ①帯本体 A 1枚→そのまま1枚 ②たれ B 1枚→ // ③たれ A 1枚→ // ④帯本体 C 1枚→ // ⑤リボン 1枚→ // ⑥帯本体 B 1枚→ //  合計：6枚 のパーツで構成

## ■必要な布量参考数値

# 浴衣セットの型紙【25cm】

## 横90cm, 110cm 140cm



## 01. 型紙を貼り合わせる

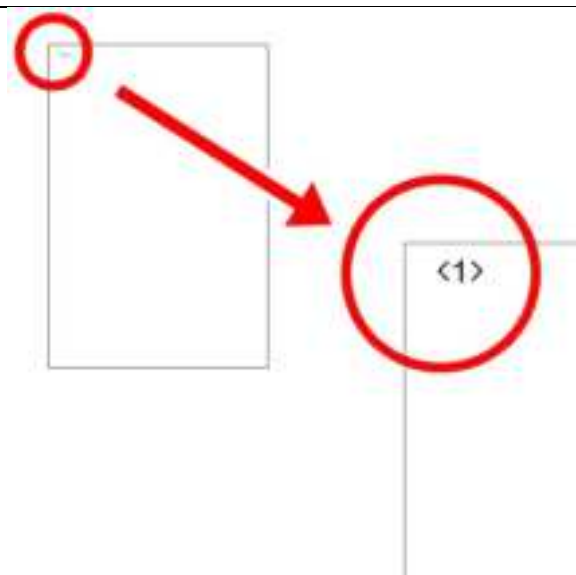
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載

※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。

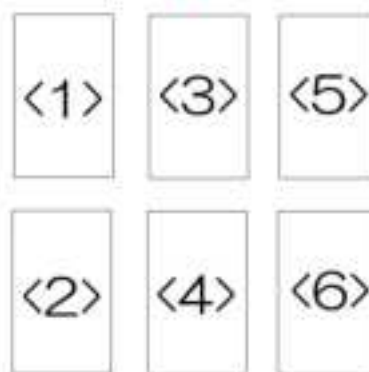
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。



② <1>の型紙に記載されている通りに  
型紙を並べる。

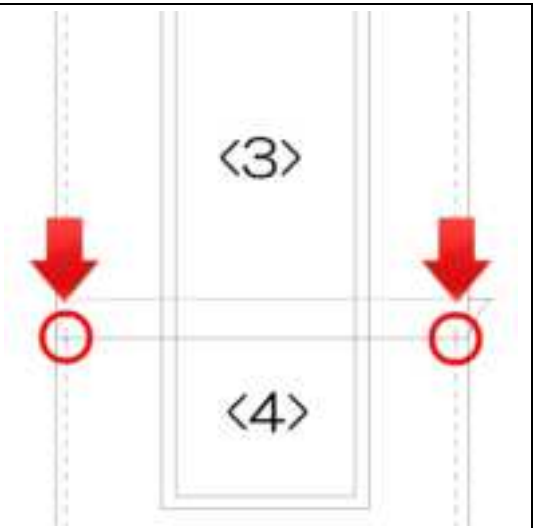
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」  
という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

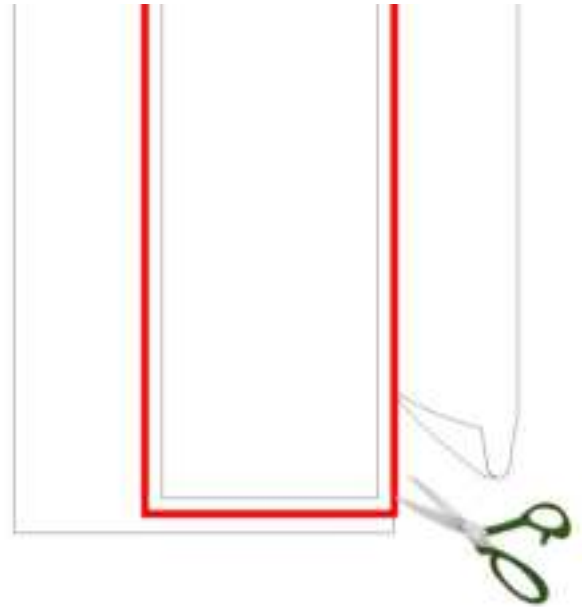


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、  
表裏両方をテープで留める。



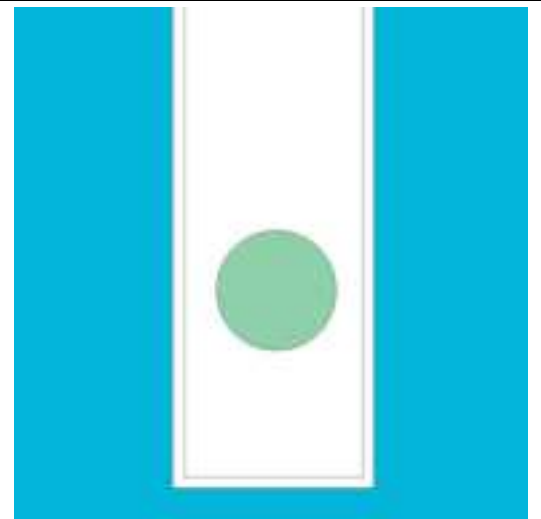
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用  
しています。〕



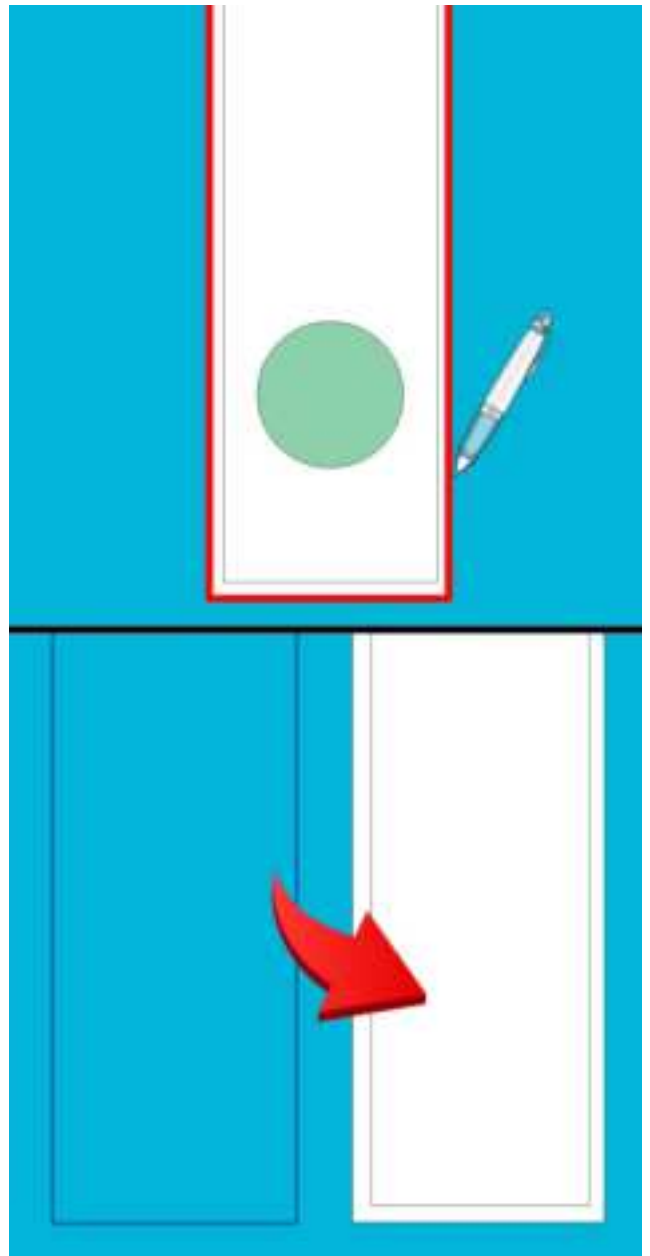
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で  
型紙が動かない様にする。〕

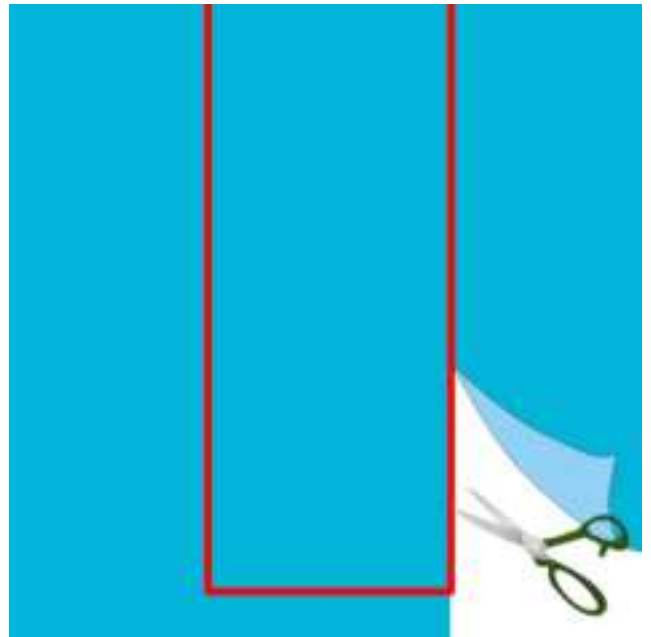


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

- ※オススメのチャコペン
- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
  - ・クロバー 水性チャコペン

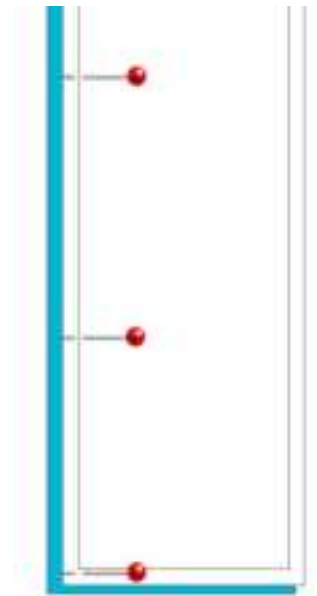


05. 04で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、  
細かくとめる必要はない。〕



## 07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

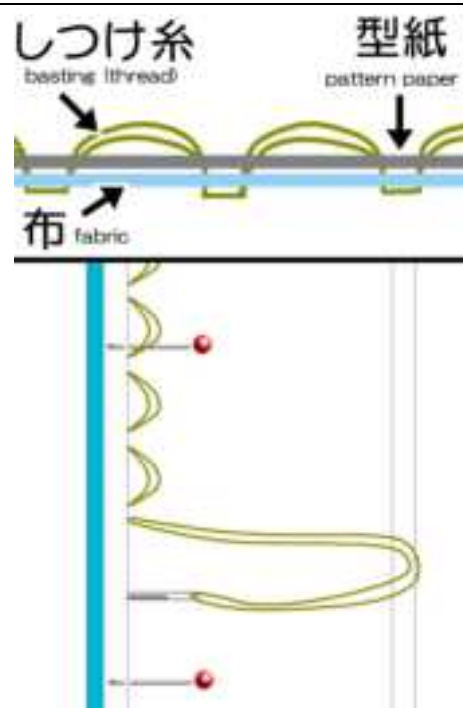
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。  
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

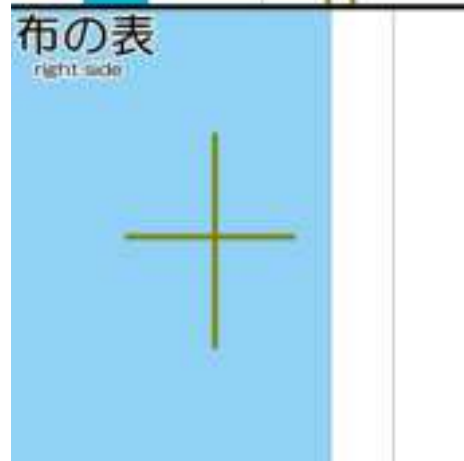
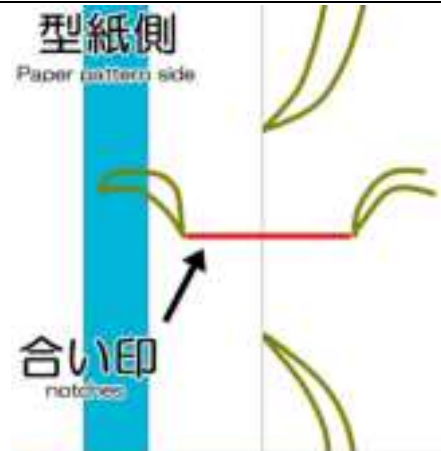
- A. 型紙から刺す  
B. 布を刺す  
C. 0.3cm 程度すくうように縫う  
D. 型紙を刺す  
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す  
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。  
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て  
+ に見えるように針を刺す。





④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。  
〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。

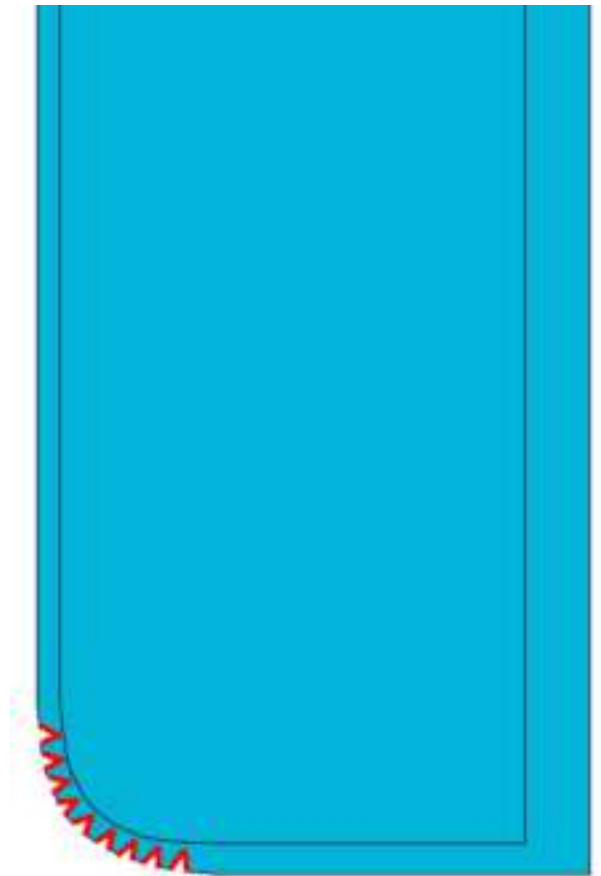
⑨



【浴衣本体】

08. 袖×2のカーブに切り込みを入れる。

〔 反対側も同じように切り込みを入れる。〕



09. 身頃×2 の周囲に解れ止め液を塗布する。

衿ぐりは塗布しなくてよい。

解れ止め液の匂いが強いこともある為、作業時は喚起を奨励。

場合によっては解れ止め自体を行わない

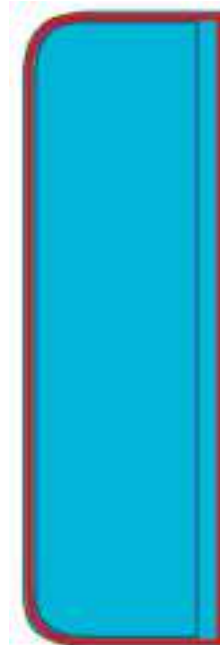
”切りっぱなし”で対応しよう。

ジグザグミシンやロックミシンを使用することも可能であるが、

嵩張る様になるので試し縫いをしてから検討がおすすめ。



10. 袖×2 の周囲に解れ止め液を塗布する。

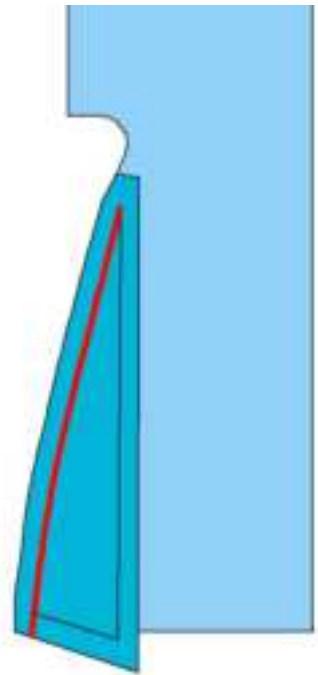


11. おくみ×2の周囲に解れ止め液を塗布する。

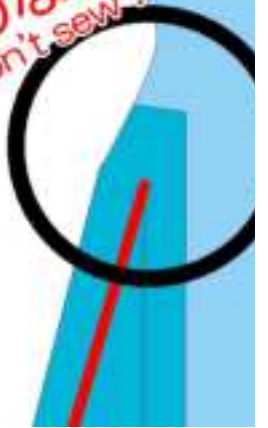


12. "おくみ" ×2 と前身頃を、表が内側になる様に合わせて縫う。

- [ おくみの先は縫わない。  
 おくみ：前身頃に縫ってある細長い部分  
 (画像の黄緑色の部分)



縫わない!  
don't sew!



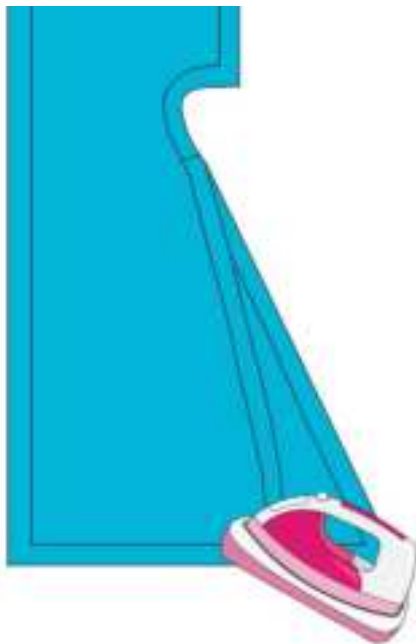
13. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。  
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



14. 縫い代をおくみ側に倒して、アイロンをかける。

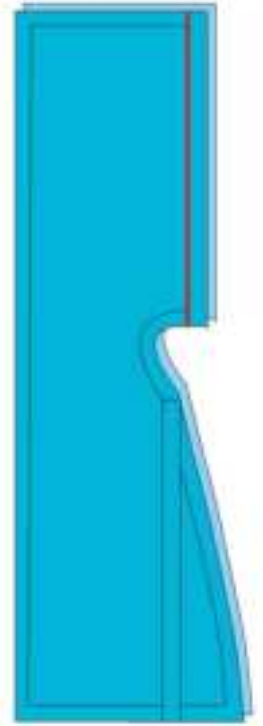
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



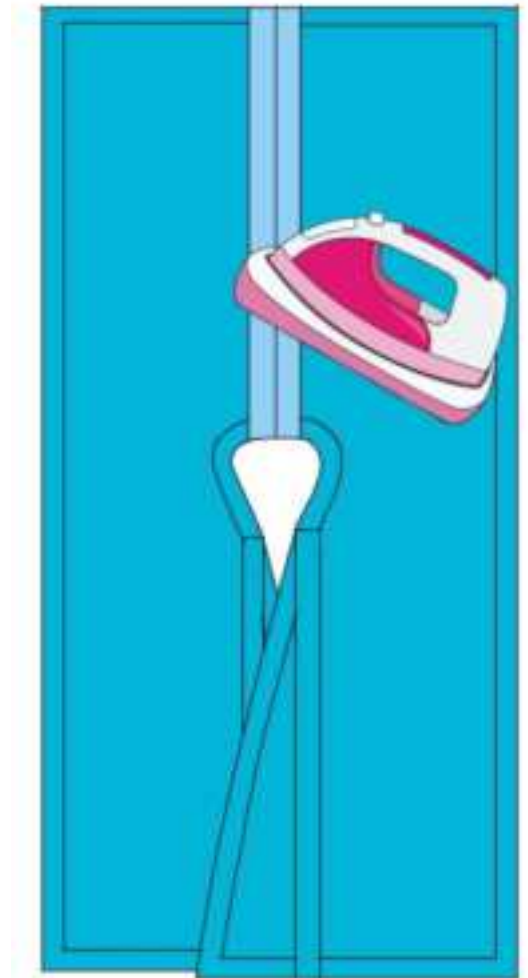
身頃  
bodice

おくみ  
okumi

15. 身頃の背中を、表が内側になる様に合わせて縫う。



16. 背中の縫い代を開いて、アイロンをかける。



17. 袖×2 の袖口側の縫い代を出来上がり線で折って、アイロンをかける。

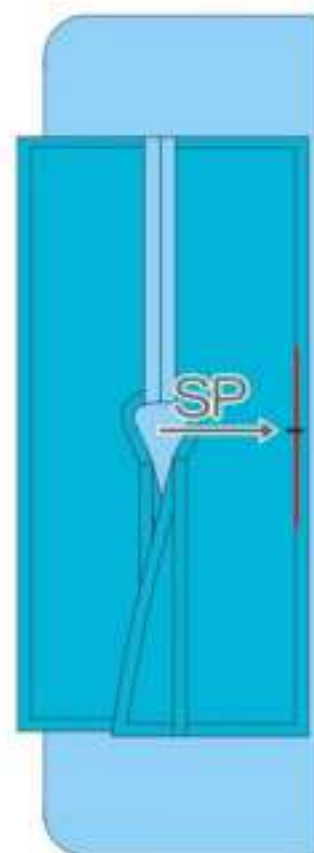


18. 身頃×2 と袖×2 を、表が内側になる様に合わせて縫う。

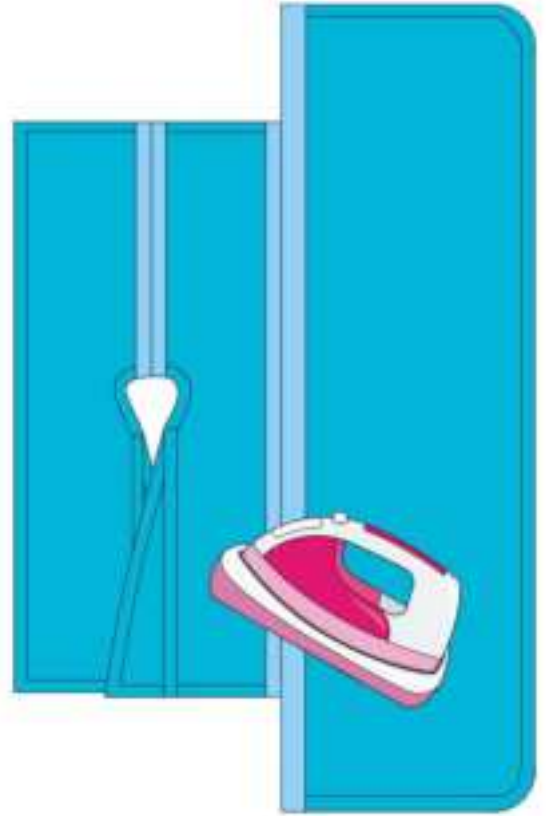
身頃の SP と袖の SP が目印。

SP：ショルダーポイント。肩の頂点。

袖はカーブしていない方が、身頃側になる。

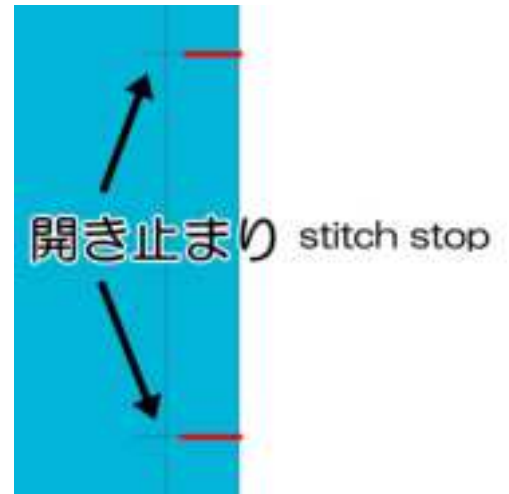


19. 身頃の肩と、袖の肩の縫い代全体にアイロンをかける。  
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕

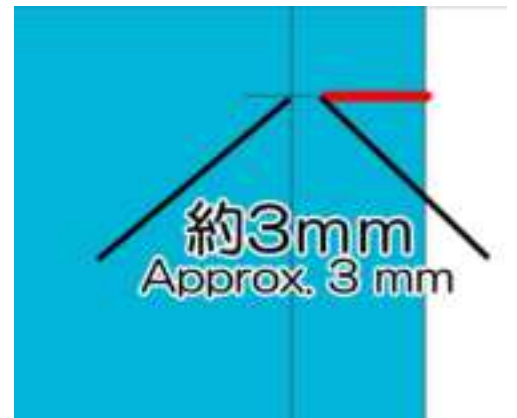


- 
20. 熱接着テープを 5mm 以下×25mm(2.5cm)の長さに切る。  
〔2本用意する。〕

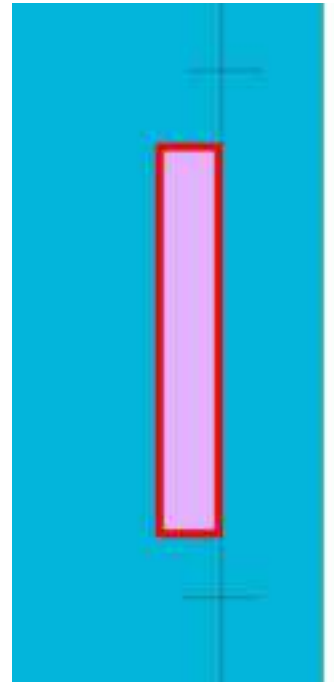
- 
21. 袖口×2の開き止まりに切り込みを入れる。



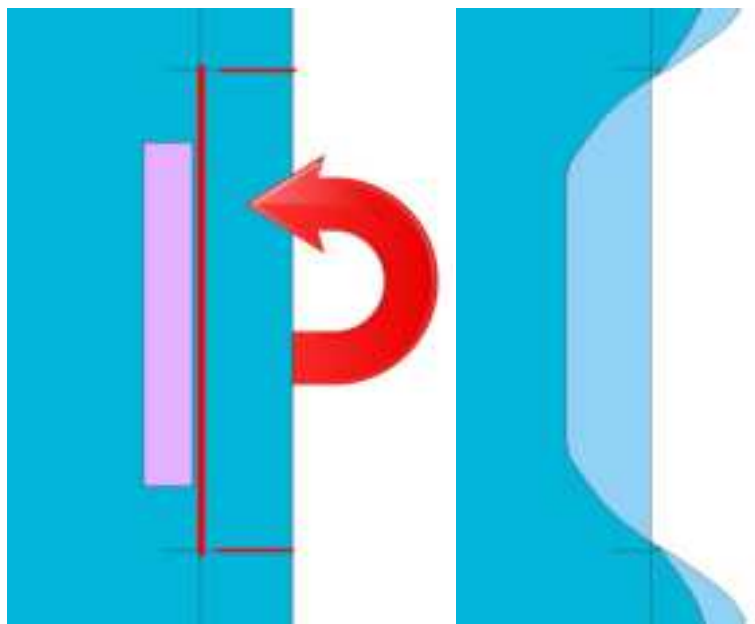




22. 袖×2 の袖口中央に熱接着テープを設置する。



23. 切り込みを入れた区間の縫い代を折る。  
〔 反対側も同じように折る。〕

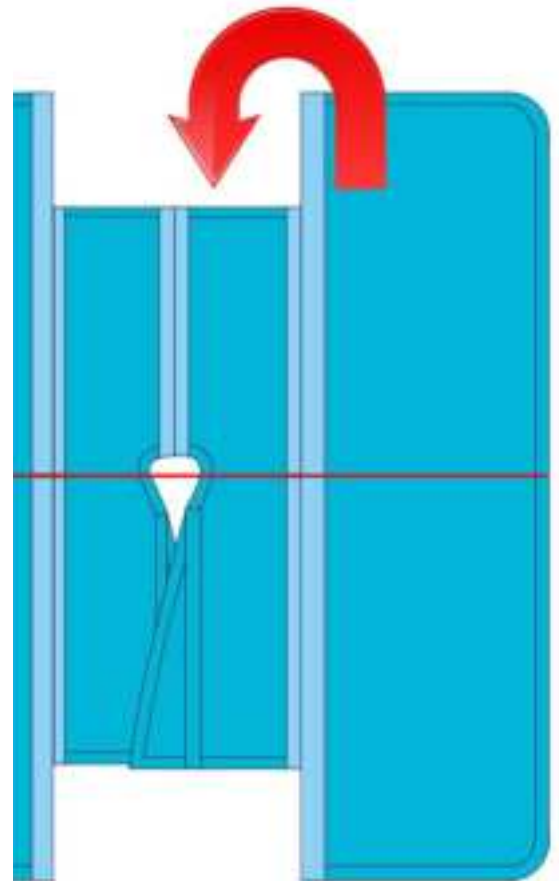


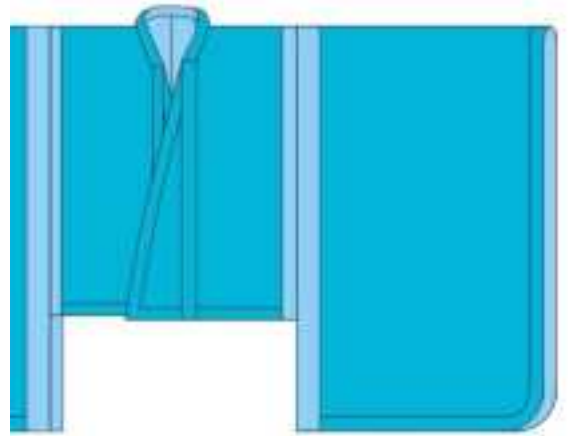
24. アイロンをかけ接着する。

- 〔 接着時間等は、使用するテープの注意書きに従う。〕
- 〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕

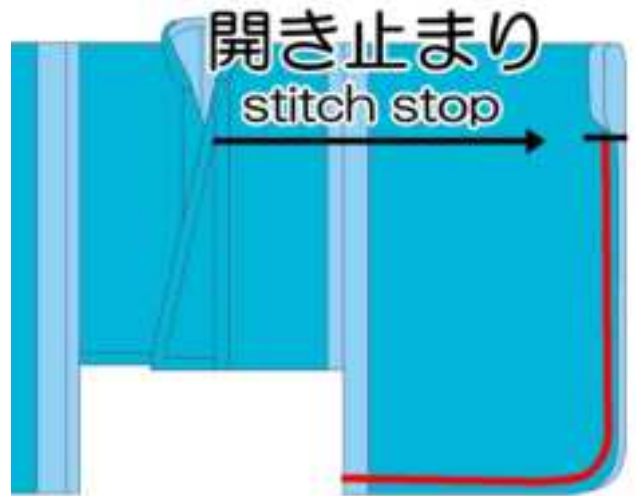


25. 表が内側になる様に、身頃を肩線(SP)で半分に折る。

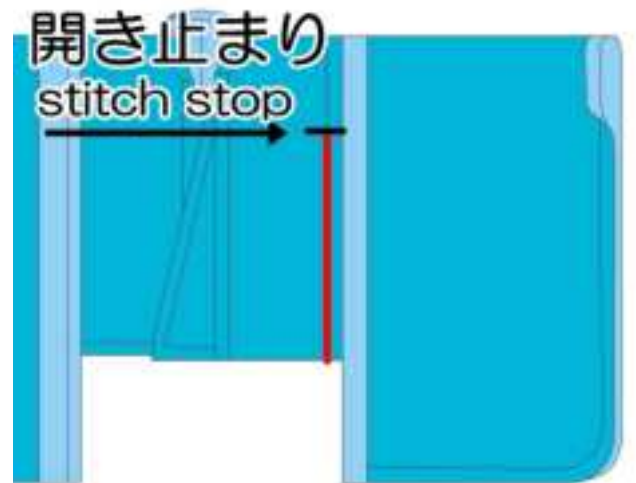




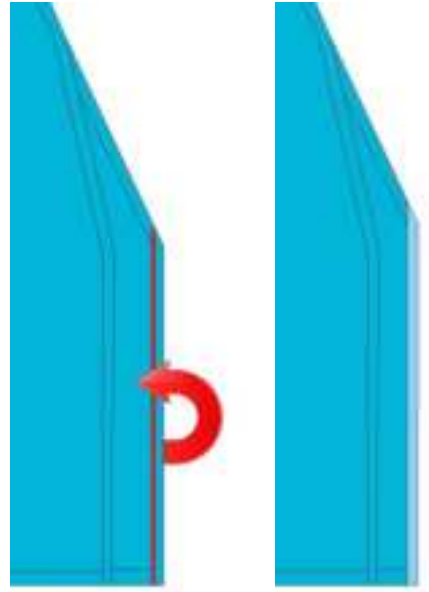
26. 袖口下の開き止まりから、身頃側までを縫う。  
 [ 反対側も同じように縫う。



27. 身頃×2 の脇を開き止まりまで縫う。  
 [ 身頃の縫い代と、袖を縫わない様に注意。



28. おくみ×2の“縦”側を出来上がり線で折る。

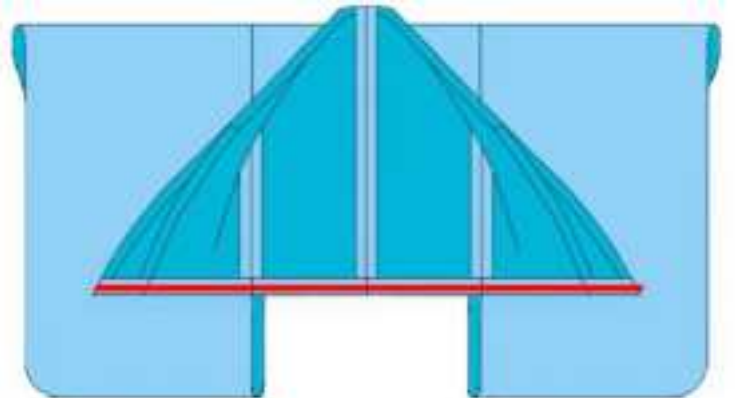


29. おくみ×2の“縦”側の縁を縫う。

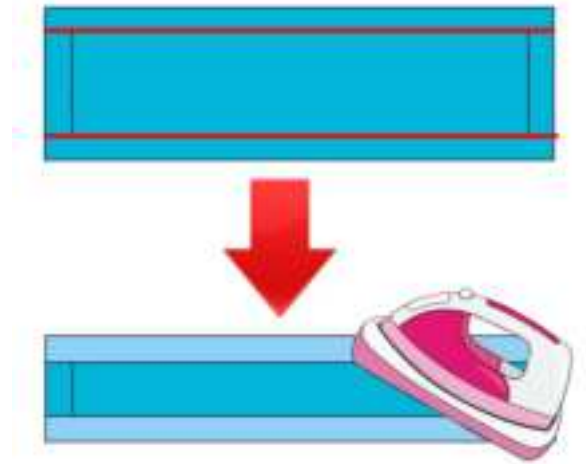


30. 表に返す。

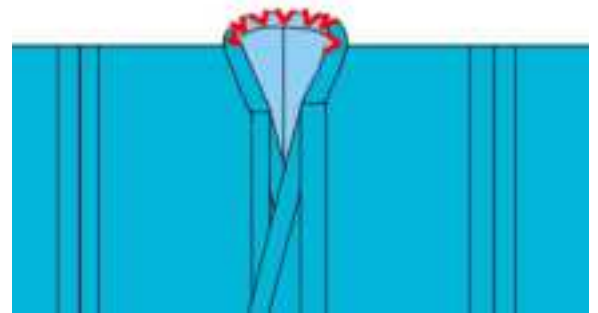
31. 裾を出来上がり線で折って縫う。



32. 衿の縫い代を折って、アイロンをかける。

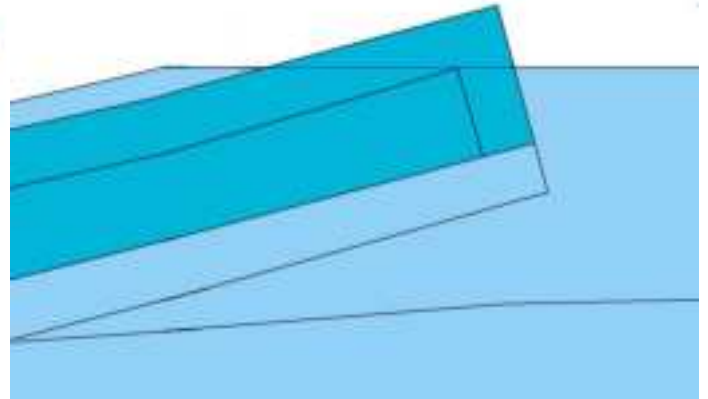
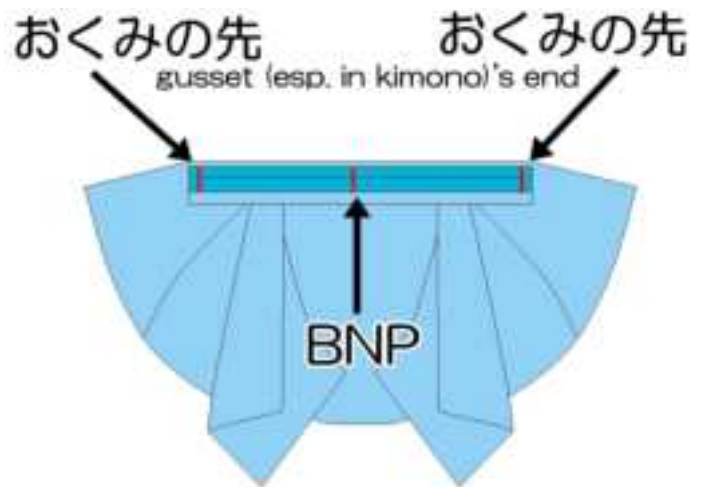


33. 身頃の衿のカーブに切り込みを入れる。

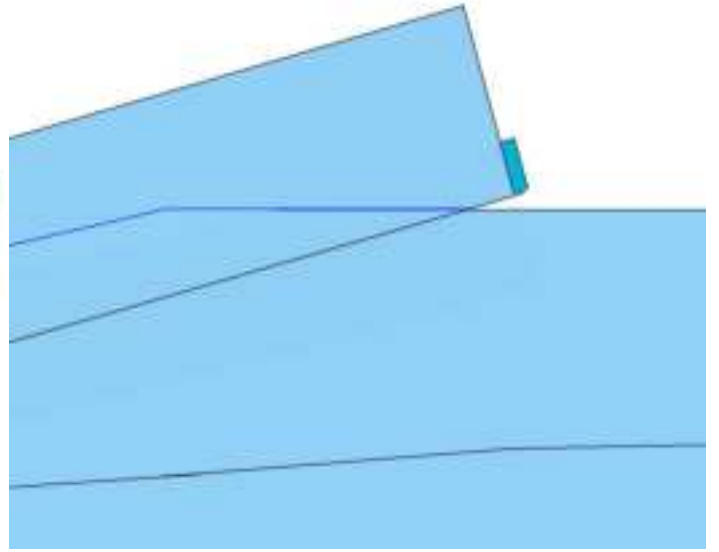
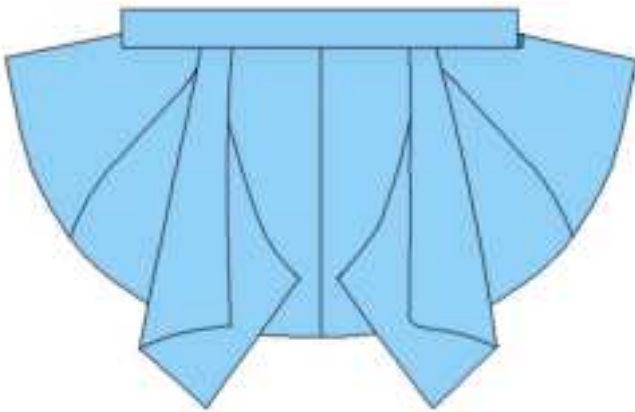


34. 身頃と衿を、表が内側になる様に合わせて縫う。

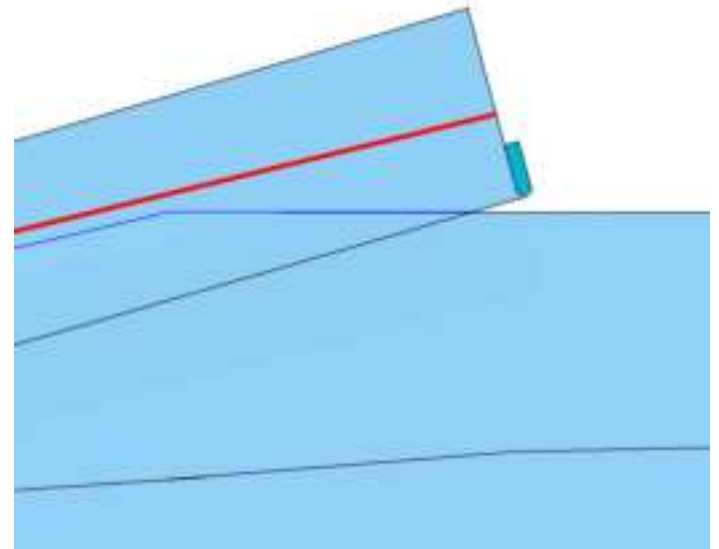
- BNP:バックネックポイント。  
後身頃にある首回りの後中心点。
- 衿の縫い代は縫わない。
- おくみ(okumi): gusset (esp. in kimono)
- おくみの先 : Tip of gusset (esp. in kimono)

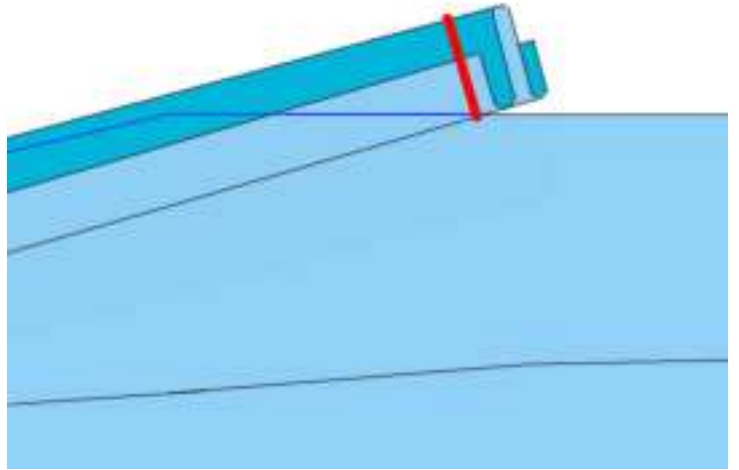


35. 衿を上折る。



36. 衿の両端を、中心線で折って縫う。





37. 衿を表に戻して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

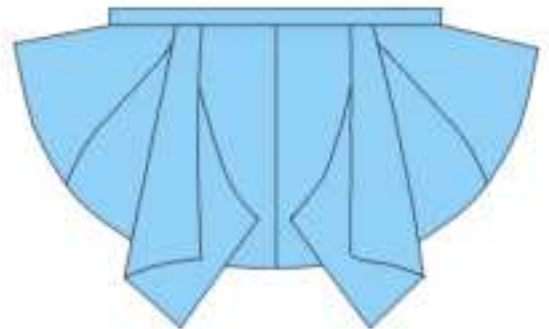
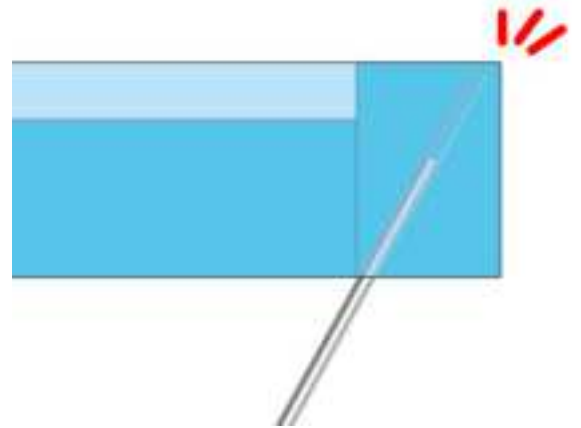
（ 反対側も同じように整える。

布団等の太い針を使う。

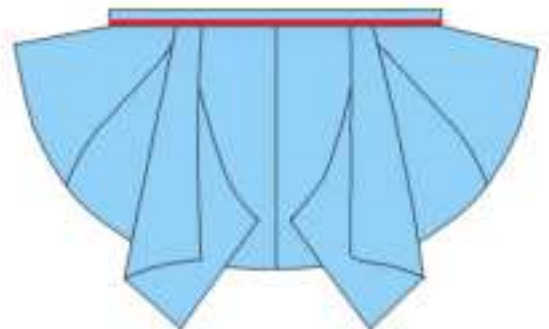
ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”などでも代用出来る。

あくまでも優しく内側から押して角を出す。

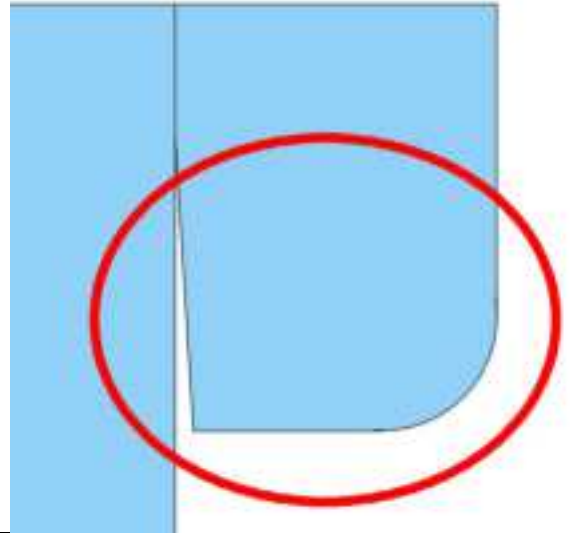
強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると貫通し布が傷む可能性も。



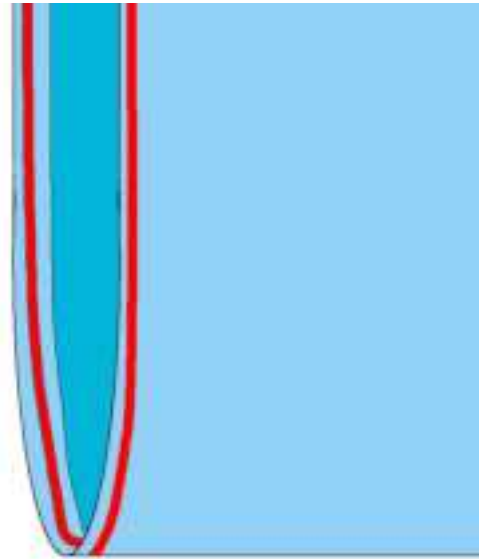
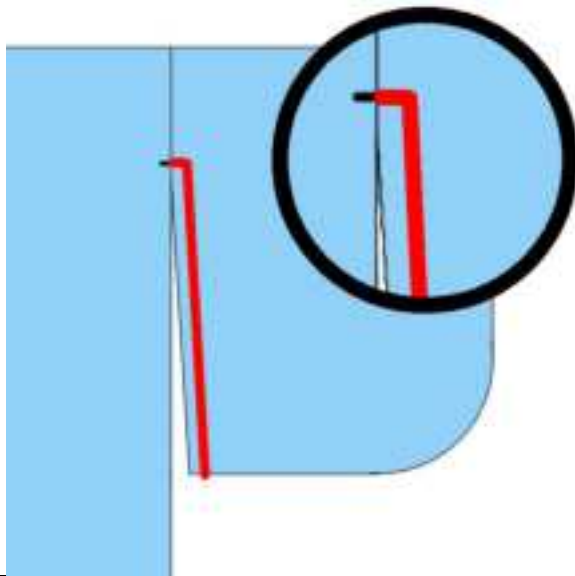
38. 衿の縁を縫う。



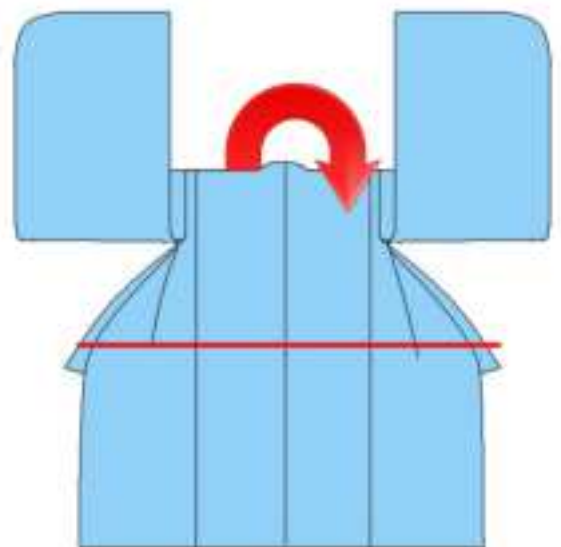
39. “袖×2の振り”部分の縫い代を整える。  
〔袖の振り：画像の赤丸で囲った部分の事。〕



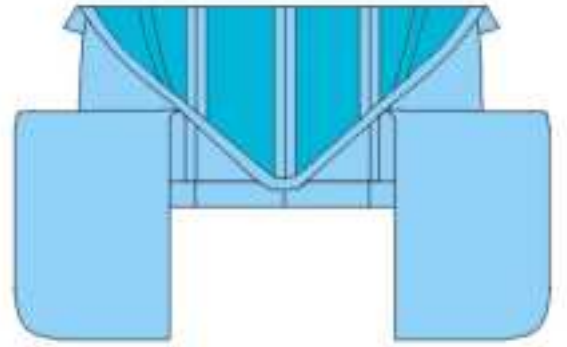
40. 袖×2の振りの開きを縫う。



41. 表が内側になる様に”山折”と書かれた線で折る。

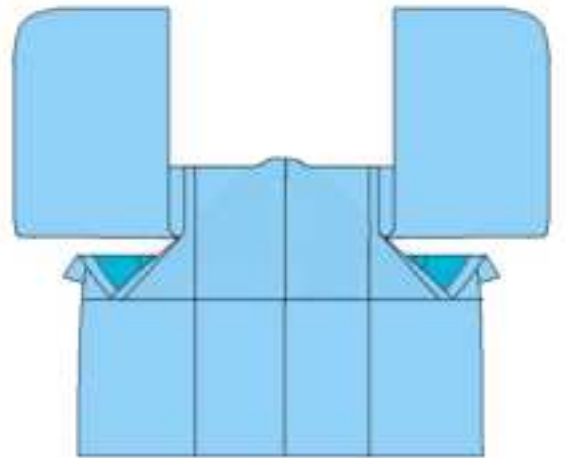
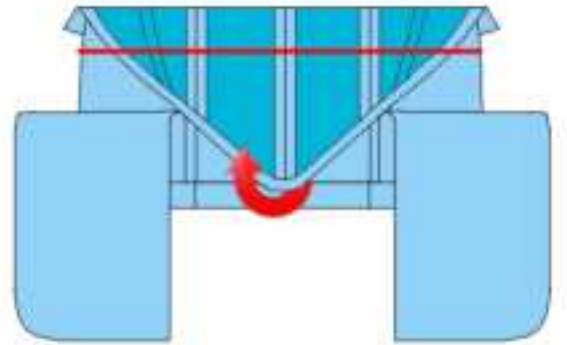




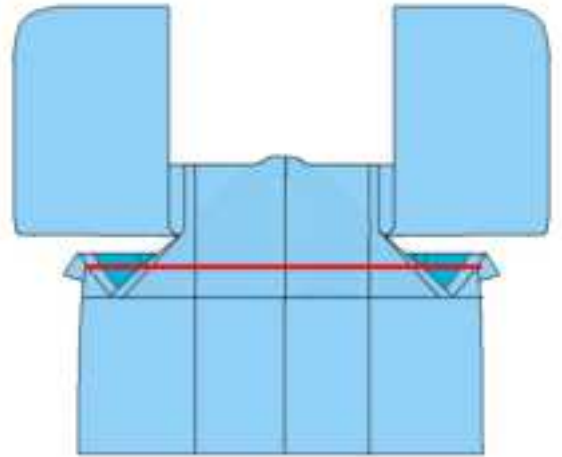


---

42. "谷折"と書いてある線で折る。



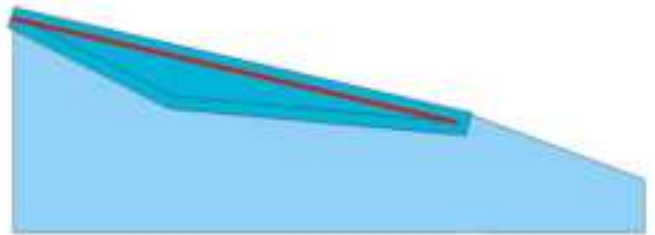
43. 段になった縁を縫う。



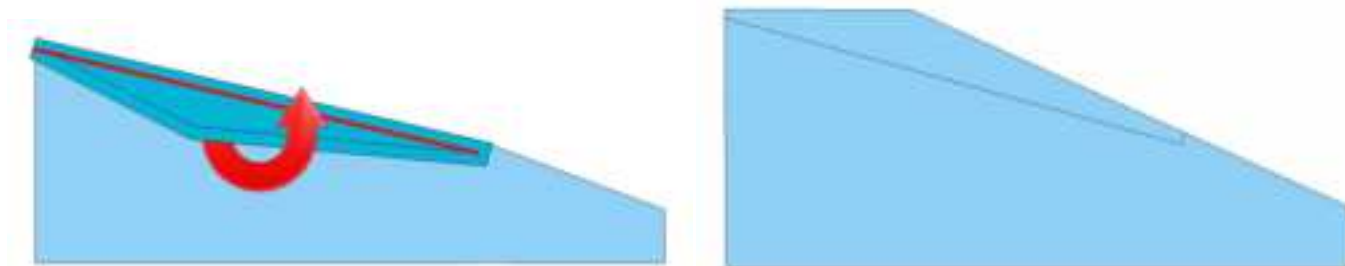
-----以上で浴衣本体は終了です。-----

44. 帯本体 A と帯本体 B を、  
表が内側になる様に合わせて縫う。

- 〔 ☆同士を合わせる。
- 〔 帯中央付近の縫い代は縫わない。



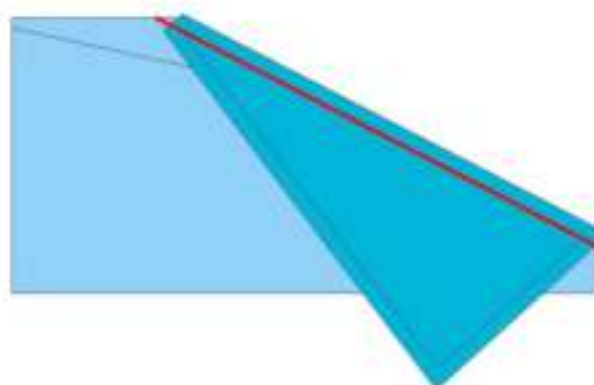
45. 帯本体 B を上に倒す。



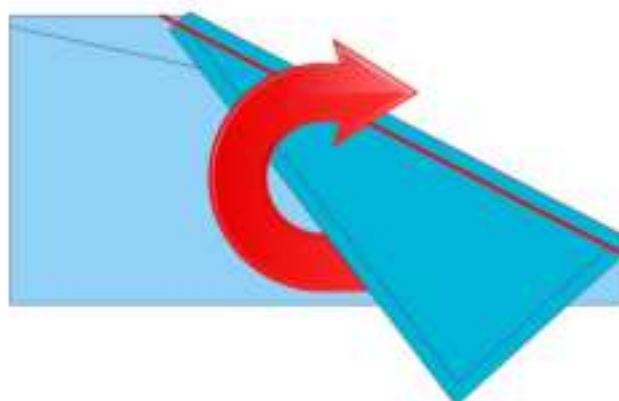
46. アイロンをかける。

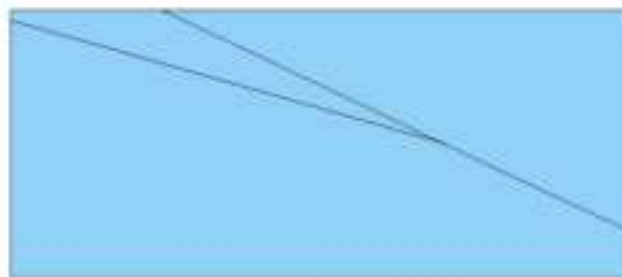


47. 帯本体 C と 46 を、  
表が内側になる様に合わせて縫う。



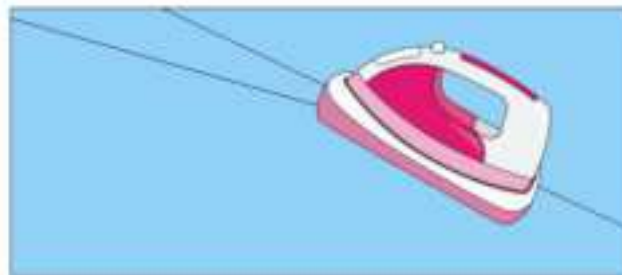
48. 帯本体 C を上に倒す。





---

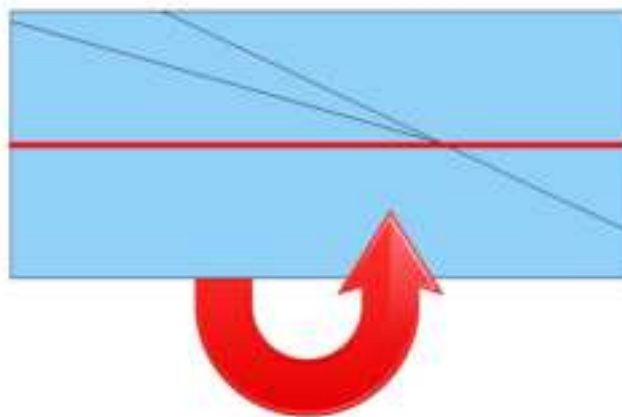
49. アイロンをかける。



---

※接着芯を貼りたい場合は、ここで接着する。

50. 帯本体の中心を、表が内側になる様に折る。



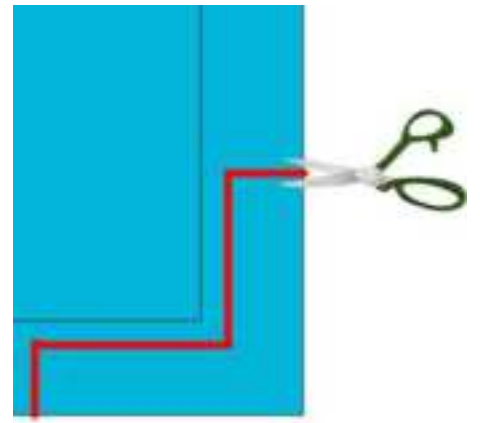
---

51. 開き止まりまで縫う。



52. 角をカットする。

〔 反対側も同じようにカットする。〕

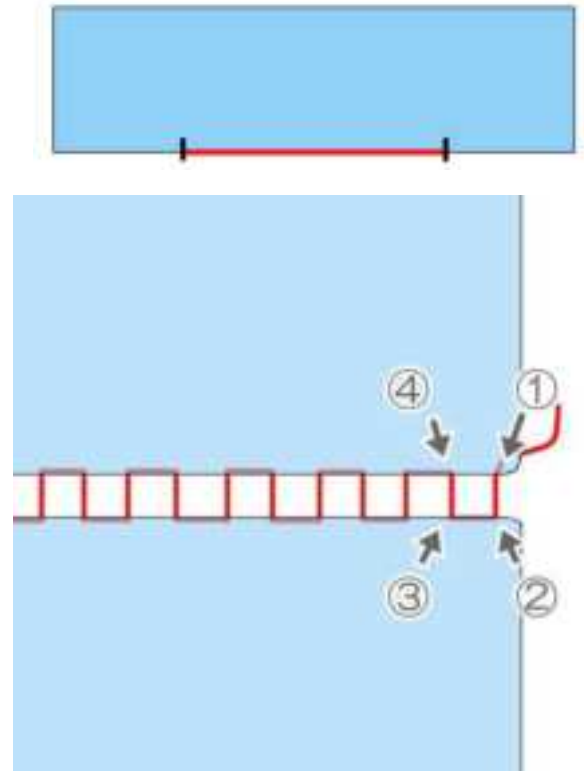


53. 表に返して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

54. 開きを“はしごかがり”でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
- ② 反対側に針を刺し、布を 4mm 程すくう。
- ③ ②ですくった先から針を出す。
- ④ 反対側に針を刺す。
- ⑤ ①～④を繰り返す。

〔 針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが違う等のトラブルが起き辛い。〕



55. アイロンを掛ける。



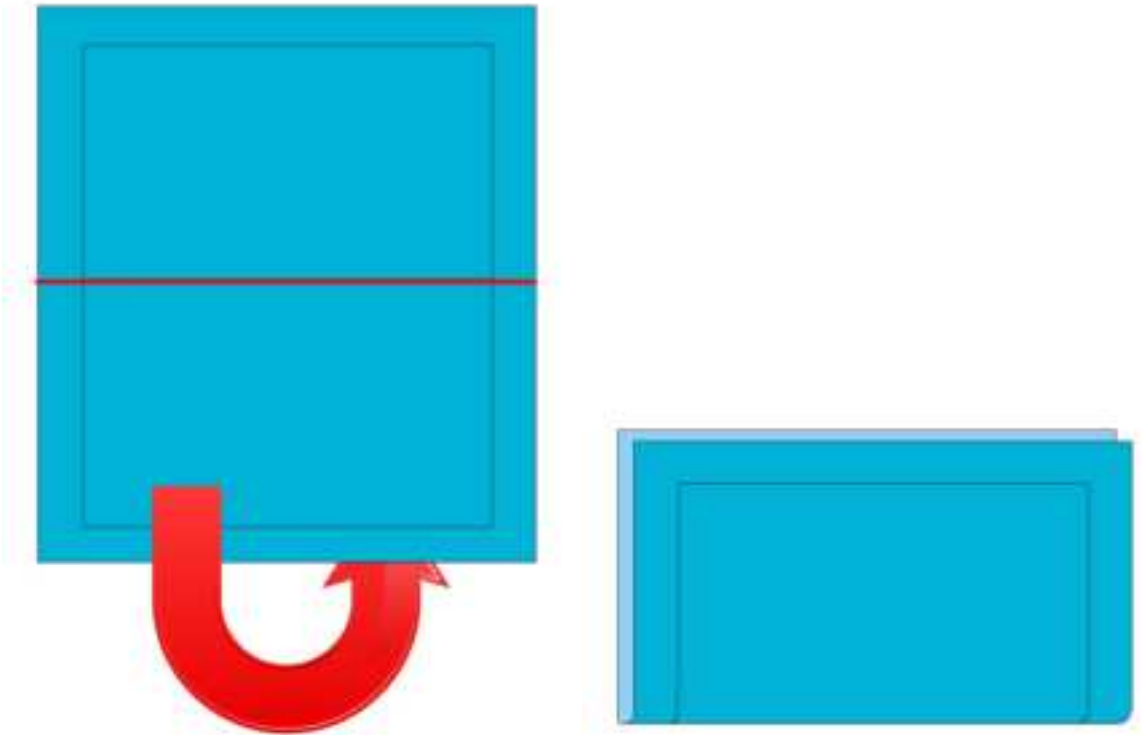
56. 面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



57. 面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



58. リボンの中心を、表が内側になる様に折る。



59. 両端を縫う。



60. 縫い代を 3mm 程度にカットする。





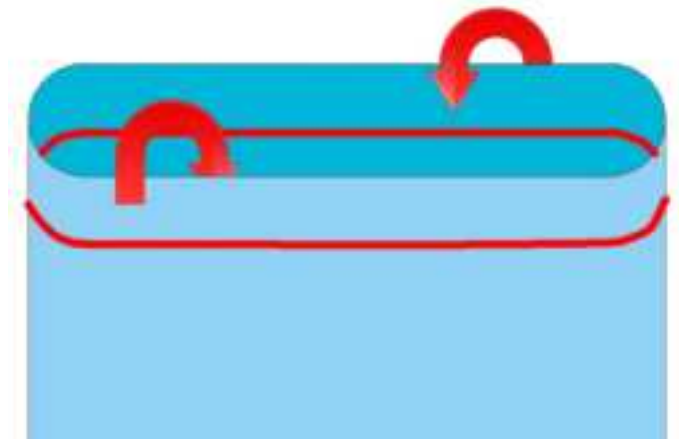
---

61. 表に返す。



---

62. 縫い代を出来上がり線で内側に折る。



---

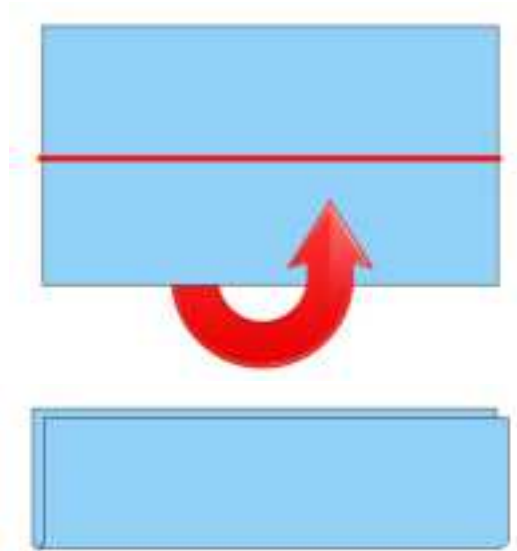
63. 開きを“はしごかがり”でとじる。

---

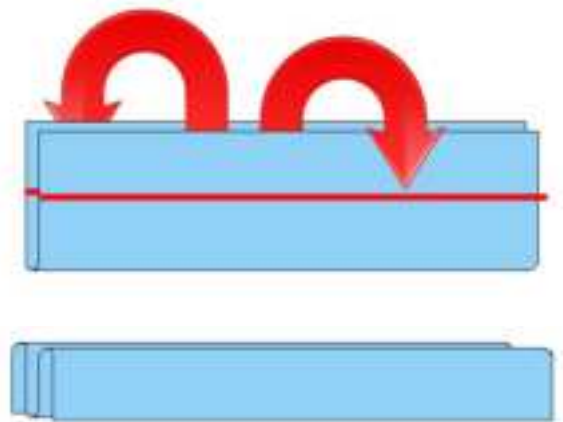
64. アイロンをかける。

---

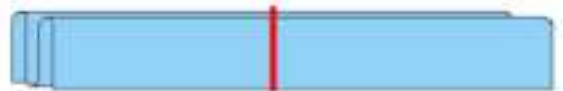
65. リボン上を中心で折る。



66. 更に中央を左右に折る。



67. 縦中央を留める。

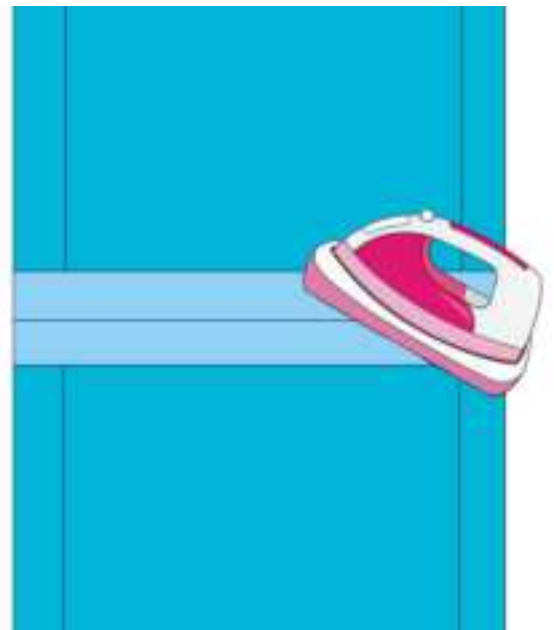




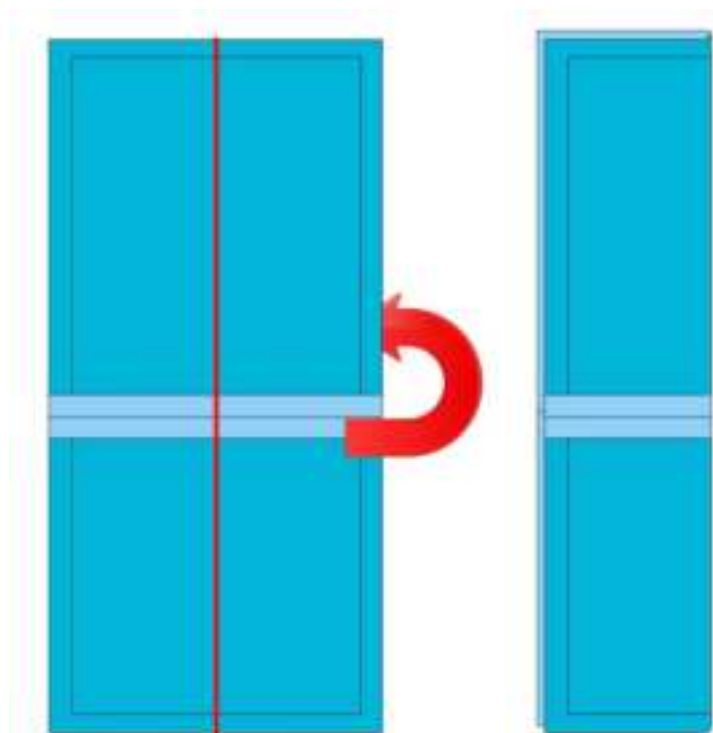
68. たれ A とたれ B を、表が内側になる様に合わせて縫う。  
〔 △同士を合わせる。



69. 縫い代を開いて、アイロンをかける。



70. たれの中心を、表が内側になる様に折る。



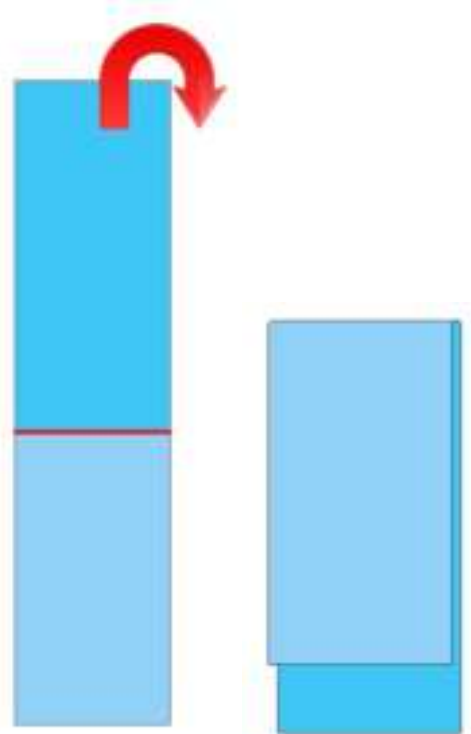
71. 開き止まりまで縫う。



72. 52~55 と同じように進める。

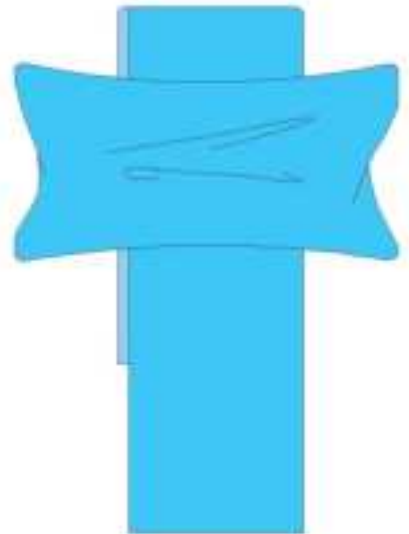
73. たれAとBの境目で折る。

〔たれA（短い方）を上にする。〕

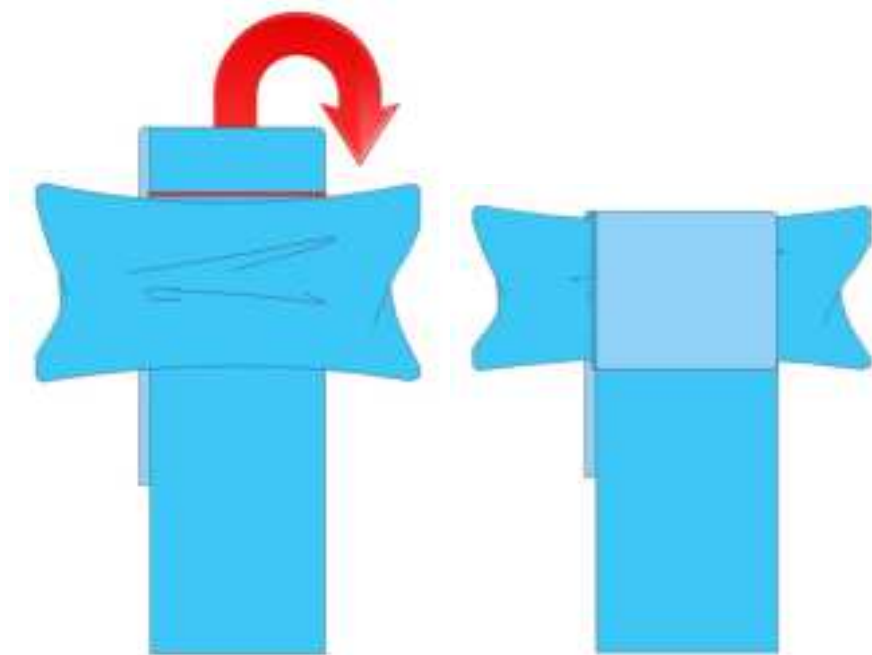


74. たれB（長い方）を上にし、

その上にリボンを裏側にしてのせる。

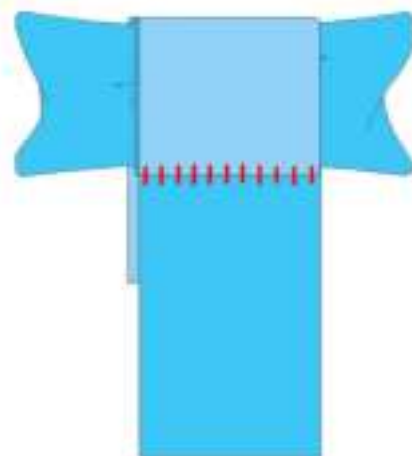


75. リボンをたれで巻く。

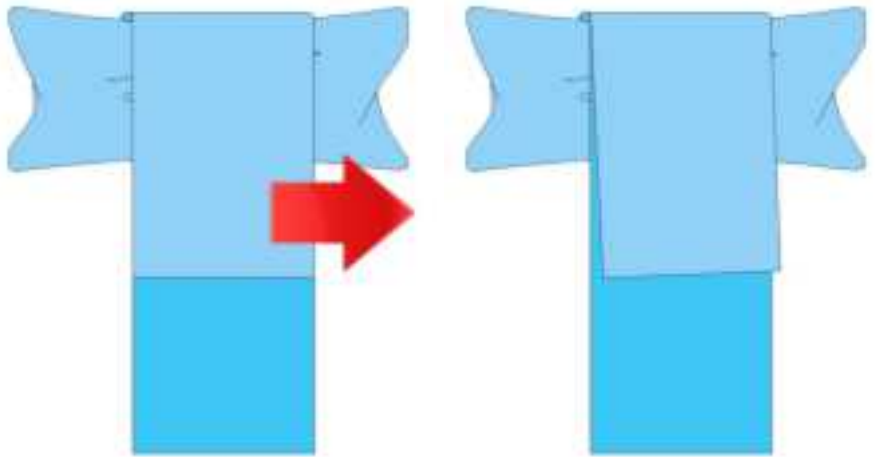


76. たれが開かないように縫い留める。

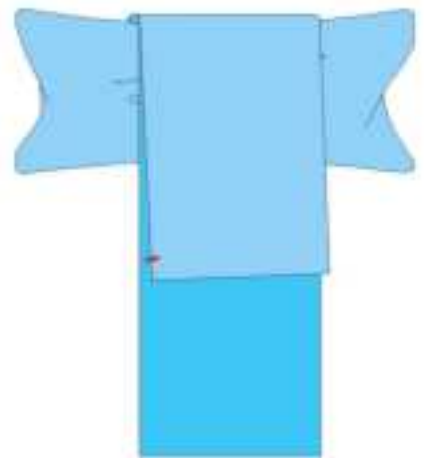
〔表に糸が出ないように注意。〕



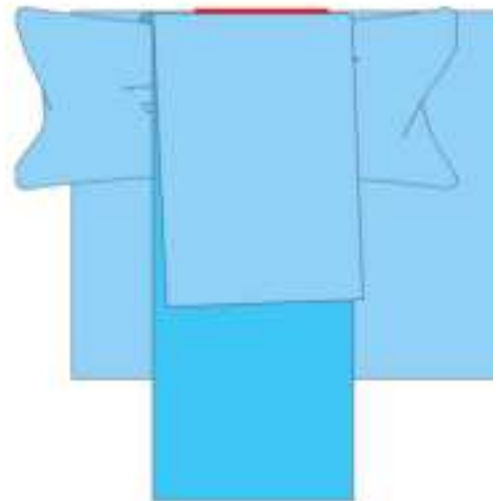
77. 表にし、たれAを少しずらす。リボンの位置も整える。



78. 目立たない場所に、たれAの一部を縫う。



79. 帯本体に縫い付ける。



お疲れ様でした！